

「サイエンスカフェ in 高知」の概要について（事後報告）

1. 開催日時：2022年10月2日（日） 13時40分～16時10分

2. 開催場所：高知県立県民文化ホール・第6多目的室
（高知市本町4丁目3-30）

3. 関係団体等：日本学術会議農芸化学分科会
公益社団法人 日本農芸化学会
国立大学法人 高知大学

4. 役割

司会・進行：村松久司（高知大学教育研究部総合科学系 准教授）
挨拶：稲垣賢二（岡山大学学術研究院環境生命科学学域 特任教授，
日本学術会議 連携会員，農芸化学分科会 副委員長）
講師：島村智子（高知大学教育研究部総合科学系 教授）
松川和嗣（高知大学教育研究部総合科学系 教授）

5. 開催概要：

高知県立県民文化ホール・第6多目的室を会場とし、感染拡大防止策を十分に執った上で対面形式にて開催した。冒頭、コーディネーターの村松久司氏から日本農芸化学会とサイエンスカフェについての紹介の後、日本学術会議連携会員の稲垣賢二氏から日本学術会議とその活動の紹介を兼ねて共催の挨拶がなされた。次に、講師の島村智子氏より「土佐の食材の健康機能を農芸化学で解き明かす」と題して、高知県大豊町で生産される碁石茶の紹介、分析機器を用いた碁石茶の味の数値化、碁石茶の生体調節機能とその関与成分について、自身の研究成果の解説があった。休憩をはさんで、松川和嗣氏より「SDGsに貢献する家畜保全学のお話」と題して、高知独自に改良された土佐あかうしの紹介、土佐あかうしに対する柚果皮給餌による肉質改善効果、生殖細胞のフリーズドライ技術など、最新の研究成果の紹介があった。2題の講演の後、講師と参加者でフリーディスカッションをした。

幅広い年齢層の参加があり、特に高校生の参加者が全体の半数以上を占め、これから進路を決める学生を含めて様々な年代の参加者に農芸化学や農学を知っていただく機会になった。参加者は最後まで興味深く講演を聞き、フリーディスカッションでは講師と活発な意見交換がなされた。感染防止の為、講師の説明を聞きながらの試飲・試食ができなかったのは残念だったが、参加者には講演内容に関連した試食品（碁石茶と土佐あかうしカレー）を持ち帰って頂いた。

6. 参加人数：

来場者：24名（高校生、大学生、一般）
講演者、司会、挨拶等：4名

7. 特記事項：なし



日本学術会議共催挨拶



島村氏による講演



島村氏の講演の様子



松川氏の講演



松川氏の講演の様子